

浜崎地区にまつわるストーリー

浜崎は、町人と武家が共存している場所でした。

城下町
毛利輝元が慶長9年(1604)に、城と城下町の建設を始めます。その頃にはすでに浜崎の町は存在していたようです。

この萩城下図には、「萩城」・「須崎」・「土屋敷」・「町屋」の名だけが書かれており、その位置から「須崎」が「浜崎」であることがわかります。

慶長元年年間頃(1615~1624)を描いた萩城下図(萩博物館蔵)

町人の町、浜崎

大量の荷物を船で運ぶ「回船業」を営む人々や、生活物資を商う人々、水産業に関わる人々、船大工などが多く住んでおり、藩の経済を支える町として賑わっていました。

「八江萩名所図画」に見られる浜崎魚市場(マツノ書店)



- 町人の町、浜崎を巡る
- 3 港町の建物
 - 5 浜崎魚市場
 - 7 門跡と本町筋
 - 8 旧山村家住宅
 - 9 旧山中家住宅
 - 10 須子家住宅と町人文化
 - 12 住吉神社
 - 13 浜崎新町と水産加工業
 - 14 梅屋七兵衛旧宅
 - 15 吹上通り
 - 16 泉福寺



江戸時代末期の浜崎の復元図

17 武家屋敷跡

武家が住んでいたところ

12 住吉神社

住吉祭りの様子

17 武家屋敷跡

武家が住んでいたところ

御船倉の様子

「山口県商早見便覧」(『明治期山口県商工図録』所収、マツノ書店)

汽船荷揚場の様子(明治20年頃)

「山口県商早見便覧」(『明治期山口県商工図録』所収、マツノ書店)

松本川

日本海

7 見島

2 相島

5 尾島

3 三見浦

4 羽島

6 肥島

3 櫃島

2 玉江浦

4 鶴江浦

6 越ヶ浜浦

1 大島

1 浜崎浦

5 小畑浦

7 大井浦

浜崎宰判が治めた7浦7島

萩藩の町、浜崎

藩主の御座船や軍船を納める「御船倉」や浜崎と周辺の漁村を治める「浜崎宰判」という役所があり、浜崎と萩沖に広がる7浦7島を治める藩の重要拠点となっていました。

- 萩藩の町、浜崎を巡る
- 1 御船倉と浜崎宰判
 - 4 御番所跡
 - 6 門跡と蔵屋敷跡
 - 7 門跡
 - 11 浜崎宰判跡
 - 17 武家屋敷跡
- ちよっと足を伸ばして

海と川を間近にひかえた町のぼり

(洪水や火災の出勤時に持っていく旗)

浜崎は、江戸時代には萩城下の港町として栄えました。浜崎が港町として開発されたのは、江戸時代の初めごろと言われています。

どちらも船にちなむもので、港町としての浜崎の特徴をよく表しています!

「萩川々洪水防止法」(山口県文書館蔵)

「萩川々洪水防止法」(山口県文書館蔵)

浜崎新町は「いかり」がマーク

浜崎町は「かい」がマーク

施設のご案内

浜崎町並み交流館 内部までご覧になれます!!

旧山村家住宅

表屋造りと呼ばれる上方の建築様式を取り入れた大きな町家。土間や土蔵では、浜崎伝建地区や家々に伝わるおたからを紹介する展示が充実。

旧山中家住宅

背の高い外観が特徴の昭和初期の町家。浜崎のおかあさんたちが常駐。引札の展示や手作りの布小物、絵葉書など浜崎グッズも販売。

住所: 〒758-0022 山口県萩市浜崎77
電話: 0838-22-0133 (山村・山中共通)
時間: 9:00~17:00 (管理人常駐)
定休日: 水曜日・年末年始

- ### その他の見学可能施設
- 1 旧萩藩御船倉
 - 2 旧小池家土蔵
 - 3 住吉神社
 - 4 梅屋七兵衛旧宅
 - 5 泉福寺
- *内部を見学したい方は、旧山村家・旧山中家の管理人まで一声おかけ下さいませ!

浜崎季節暦

春	夏	秋	冬
<p>節分祭り・どんど祭り(2月3日)</p> <p>住吉祭り(8月1日~3日)</p> <p>花火大会(8月1日)</p> <p>住吉祭り(8月4日)</p> <p>輪くくり(8月4日)</p> <p>稲荷祭り(5月)</p> <p>春のシラス漁と浜千しの風景(3月後半~7月)</p> <p>しろうお四ツ手網漁(2月20日~4月10日)</p> <p>浜崎のお雑司(2月3日~4月3日)</p>	<p>住吉祭り(8月1日~3日)</p> <p>花火大会(8月1日)</p> <p>住吉祭り(8月4日)</p> <p>輪くくり(8月4日)</p> <p>稲荷祭り(5月)</p> <p>春のシラス漁と浜千しの風景(3月後半~7月)</p> <p>しろうお四ツ手網漁(2月20日~4月10日)</p> <p>浜崎のお雑司(2月3日~4月3日)</p>	<p>秋のシラス漁と浜千しの風景(9月中旬~12月中旬)</p> <p>御船倉コンサート</p> <p>町民大運動会</p> <p>河口にたくさんのカモメやウミネコがきます</p>	<p>河口にたくさんのカモメやウミネコがきます</p>

浜崎伝建おたから博物館

古い家並みを歩きながら、開放された旧家に展示された代々伝わるおたからをご覧ください。毎年5月第3日曜日に開催。

住吉祭り

萩城下二大祭礼のひとつとして親しまれてきた住吉神社の夏祭り。8月3日には神輿や御船などの山車が市中を巡行し奉納されます。

ガイドのご案内

浜崎しっちゃん会
浜崎しっちゃん会のガイドのご案内いたします!
所要時間/約1時間~1時間半 ガイド料/有料(要予約) 受付時間/9:00~16:45
申込み・問合せ/浜崎しっちゃん会 TEL 0838-22-0133 (旧山村家住宅、水曜日定休)
H30.3 現在

編集 | 浜崎しっちゃん会
発行 | 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金 (文化遺産総合活用推進事業)

文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

萩まちあるきマップ

港で栄えた商家町 しっちゃんかい? 浜崎マップ



浜崎は、萩の三角州の北東のはし、阿武川下流の松本川が日本海に注ぐ河口に開けた町です。海と川を間近に控えた浜崎は、萩城下の港町として栄えました。藩政期には、主に回船業を営む人々、酒、味噌、醤油などの生活物資を商う人々、魚市場を中心とした水産業に関わる人々が住んでおり、藩の経済活動を支えるとともに、北前船も寄港し、大いににぎわっていました。また、藩の御船倉ほか近くの漁村や島々を治める浜崎宰判もありました。

海や船との関わりの中で栄えた町並み、葎戸や虫籠窓の町家、浜崎の町人たちが自ら勧請した海上安全の守り神・住吉神社、船道具やはかり、引札といった商いの道具や品々が今も大事に伝えられ、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている浜崎を歩いてみませんか。

浜崎へのアクセス

- ◆東萩駅から 徒歩15分。駅から萩橋を渡り、右折。松本川沿いを進む。
- ◆萩バスセンターから まあーるバスを利用(東回りコース) 御船倉入口、もしくは定期船のりば入口で下車
- ◆萩博物館から 博物館より徒歩15分 城下町より寺町を抜けて徒歩10分

このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!!
machihaku.city.hagi.lg.jp/db/

しるべからわかる？ 浜崎マップ

浜崎重要伝統的建造物群保存地区

萩・浜崎

萩城下の港町として栄えてきた、浜崎。日本海に面することから、物資の流通や販売、水産業などに携わる人々にぎわい、古くから萩の経済を支えてきました。現在もその町並みは健在で、平成十三年十一月には、全国で六十番目の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



梅屋七兵衛旧宅

幕末に活躍した豪商 梅屋七兵衛の晩年の旧宅。七兵衛は藩の武器を買い入れる命を受け、上海から命がけてイギリスの鉄砲千丁を持ち帰り、幕府との戦いに貢献しました。明治14年頃に建てたこの家で茶道などに親しみ、穏やかな晩年を過ごしました。



幕末の科学者

萩のお土産「萩ガラス」そして、食べるとビックリ!? 「幕末パン」をつくったという科学者 中嶋治平の旧宅です。萩でのコレラ流行を防ぎ、製鉄場の建設にかかりました。また、船や機関車も建造しました。萩城内で初めて、蒸気機関車の模型を運転したのは彼なのです!!

浜の香り

路地の奥へ行くと…クンクン 浜の香りがする! 町並みを一步裏手に入ると、地場産業である海産物の加工場があって、いりこ、ちりめんが干してあり、浜の香りが漂います。

ちりめんが干してあると 潮のいい香り

大きないりこが干してある場合もあります!

美味しい一夜干し!

住吉神社の横から菊ヶ浜を見てください!! ポコッと山が見えませんか? そうです! 萩城跡のある指月山が見えるのです。

あの山は…もしかして?

美しい夕焼けを眺められます!

干し場は、浜崎らしい風景のひとつです!

迷路!?

裏道!? 迷路に入り込んだような狭い路地。他にもあるよ。

丸型赤ポスト

気分は昭和にタイムスリップ。今も使われているポストです。ぜひ旅の思い出をハガキに書いて、出してみたいですか?

萩・日本海大花火大会

萩の夏の風物詩、花火大会。住吉祭りに合わせ、毎年8月1日に盛大に行われます。ここは大きな花火が真上に見えるビュー・ポイントなんです!



離島航路

この先→日本海には7つの島があります。浜崎とこれら7島は江戸時代、御船倉に代官所を置く浜崎宰判の支配下にありました。萩商港からは、3つの島に定期船が出ています。

- ◎大島航路→25分
- ◎見島航路→75~105分
- ◎相島航路→40分



① 公共駐車場は町並みの中にはありません。旧山中家住宅におたすねください。

P [有料]

浜崎の卸売市場

春と秋の平日(主に午前中)にはシラスの競りが行われています。競り落とされたシラスは、すぐに加工場に運ばれ釜揚げ・浜干しに。



※競りの風景が見られたらラッキー! ただし、海が荒れたり、魚が少ないと競りはないのでご注意ください。おおよそのめやす 春 3月後半~7月末 秋 9月中旬~12月中旬

つながってるの?

平入の古い町家が連続して残っていて、いくつ家が繋がっているの!? 数えてみよう!! 綺麗に揃った庇が見られるよ。江戸から明治にかけて、魚問屋と廻船問屋を営んでいました。

鶴江の渡し

※市道なので乗船無料! 対岸の鶴江に船で行けます! 藩政時代、川内には、2本の橋しかなかったので、渡し船が活躍していました。なんと! 今でも現役の手書きの渡し船なんです。お昼前後は休みになるので、時刻表を要チェック!

- 凡例
- トイレ
 - バス停
 - インフォメーション
 - 駐車場
 - 郵便局
 - 銀行/ATM
 - 海産物屋
 - 菓子屋
 - 食事処
 - 蒲鉾屋
 - 醤油屋
 - 味噌屋
 - 酒屋
 - 見どころスポット
 - 重要伝統的建造物群保存地区

古い建物がいっぱいある浜崎

浜崎には他にもたくさん伝統的な町家が残っています。浜崎伝建地区内には、伝統的建造物として指定された建築物が138棟あり、そのうち、江戸の建物が約40棟、明治の建物が約48棟、大正・昭和の建物が約50棟もあるのです。今も住まわれている家が多いですが、年に1度の「浜崎伝建おたから博物館」(5月下旬)では、通りに面した町家を見せてもらえる家がたくさんあります。

港の商家町おすすめコース

徒歩: 約1時間
ガイド付: 約2時間



旅館 芳和荘

かつての遊郭の建物を使った旅館。中庭を囲む回廊が特徴的。お願いすれば、見学できます。

Start 浜崎町並み交流施設(旧山中家住宅)

- ①旧萩藩御船倉 ②旧小池家土蔵 ③中村家 ④柏村家 ⑤広家 ⑥藤井家 ⑦齊藤家 ⑧池部家 ⑨中村船具店 ⑩旧山村家住宅 ⑪旧山中家住宅 ⑫須子家 ⑬住吉神社 ⑭中嶋治平旧宅地 ⑮田中家 ⑯梅屋七兵衛旧宅 ⑰林家 ⑱大嶋家 ⑲泉福寺 ⑳藤山家 ㉑吹上通り ㉒旧萩藩御船倉

イラスト: 田淵満彩 原案: 九州大学芸術工学府都市環境設計研究室(村上佳代)